

令和4年度

学校評価【後期】結果



岩国市立川上小学校

学校教育目標（小中一貫教育目標）

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

経営方針

めざす学校像	3つの元気がある学校（子ども、家庭・地域、教職員）
めざす児童像	主体的な子ども：気付き・考え・行動する かしこい子（知）、やさしい子（徳）、たくましい子（体）
めざす教師像	自ら学ぶ教職員、協働する仲間、ワークライフ・バランス
めざす家庭・地域像	ともにある、つながり、コミスクの充実

本年度努力点

<川上っ子チャレンジ目標>

- 1 大きな声と笑顔であいさつしよう
- 2 みんなでなかよく遊ぼう
- 3 始まりと終わりの時刻を守ろう
- 4 進んで働こう

<小中一貫教育共通取組事項>

- 手を置き、目を向け、最後まで聞こう
- 進んであいさつをしよう
- 黙って掃除をしよう
- 時間を守ろう

3つ（子ども、家庭・地域、教職員）の元気がある学校を目指した重点取組事項

重点取組事項			実践内容	
子どもが元気	主体的な子ども		○学校教育活動・家庭生活での啓発	
	かしこい子	学習指導	○読む・聞く、理由をつけた説明力 ○多様な考えもつための関わりの場	
			○めあて・まとめ、振り返り ○朝学習、家庭学習、自学ノート	
	しんたくい子	体力向上	○マイスポーツ、朝運動、全校遊び ○早寝、早起き、朝ご飯（基本的な生活習慣）	
	やさしい子	生徒指導	あいさつ	○あいさつ+αプロジェクト
			なかよく	○授業、児童会活動、休み時間
			規範意識	○始まりと終わりの時刻厳守 ○掃除・グリーンタイム
			いじめ	○いじめ防止宣言（開発的生徒指導）
家庭・地域が元気	地域連携	コミスク	○地域に元気を届ける活動 ○地域のために何かしたいと考える ○情報発信	
		ひと・もの・こと	○小小連携、小中一貫、地域協育ネット ○学校・地域協働活動 ○ひと・もの・こと	
教職員が元気	人材育成	資質・能力向上	○授業改善、研修会開催・参加 ○協働、総ぐるみの学校運営	
		働き方改革	○ワーク・ライフ・バランス	

重点目標取組事項・アンケート項目対応表

アンケート肯定的評価 **90%以上** **80%~90%** **70%~80%** **60%~70%** **60%未満**

重点目標 重点取組事項		実践内容	児童アンケート	保護者アンケート	教職員アンケート	
子どもが元氣	子ども 主体性	学校教育活動・家庭生活での啓発	学習や生活の中で、「気付き・考え・行動する」ことができる。(75% →)	お子様は、学習や生活の中で、気付きをもったり、自分で考えて行動したりすることができている。(93% ↑)	児童の気付きや考えを生かす教育活動を仕組むことができている。(80% ↑)	
		学習指導	○読む・聞く、理由をつけた説明	自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができている。(88% →)	お子様は、自分の考えや意見に、理由をつけて相手に伝えることができている。(79% ↓)	自分の考えをG5:G6根拠をもって伝えることができる対話場を学習活動に設定することができている。(80% ↑)
	○多様な考えもつための関わりの場		友達の意見を聞いたり、タブレットで調べたりしながら、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができている。(75% ↓)	お子様は、他者の考えや意見を踏まえたり、自分から調べたりしながら、学習に取り組むことができている。(79% ↓)	多様な他者とのかかわりの中で、児童が考えを深めることができる学習活動の在り方を工夫することができている。(80% →)	
	学習指導	着 学習習慣	○めあて・まとめ、ふりかえり	目標をもって学習に取り組み、最後にふりかえることができている。(88% ↓)	お子様は、目標をもって学習や活動に取り組み、振り返ることができている。(57% ↓)	課題提示を工夫したり、振り返りを次の学習や活動へつなげたりしながら、主体的に学習へ取り組めるような学習支援ができている。学習活動に取り組むことができている。(100% ↑)
			○朝学習、家庭学習、自学ノート	言われなくても宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができている。(100% ↑)	お子様は、声をかけなくても宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができている。(50% ↑)	児童が目標をもち、進んで家庭学習に取り組めるような学習支援や評価ができている。(100% ↑)
	学習指導	体力向上	○マイスポーツ、朝運動、全校遊び	体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができている。(75% ↓)	お子様は、体力を高めるために目標をもって生活することができている。(79% ↑)	児童の体力の現状と課題を把握し、児童が目標をもって体力向上に取り組む場の設定や評価ができている。(80% →)
			○早寝、早起き、朝ご飯(基本的生活習慣)	早寝、早起き、朝ご飯ができている。(75% →)	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯など、基本的生活習慣を意識して生活することができている。(57% ↑)	児童に基本的習慣が定着する仕掛けの設定や評価ができている。(80% →)
	生徒指導	あいさつ	○あいさつ+αプロジェクト	進んで、大きな声と笑顔であいさつをすることができている。(88% →)	お子様は、誰に対しても大きな声と笑顔であいさつをすることができている。(100% ↑)	大きな声と笑顔であいさつできる場の設定と評価に取り組むことができている。(100% →)
			○授業、児童会活動、休み時間	みんなと仲良く遊ぶことができている。(100% →)	お子様は、誰とでも分け隔てなく仲良く遊ぶことができている。(100% ↑)	児童が主体的に遊ぶことができる場や仕掛けの設定ができている。(80% ↓)
		規範意識	○始まりと終わりの時間を守る	時間やきまりを意識して行動することができている。(88% ↑)	お子様は、時間やきまりを守って生活をすることができている。(36% ↓)	きまりの遵守や規範意識を育てる場の設定と評価に取り組むことができている。(100% →)
○掃除・グリーンタイム			掃除やグリーンタイムのときなど、進んで働くことができている。(88% →)	お子様は、進んで働くことができている。(71% ↑)	主体的に児童が働くことができるような、場の設定と評価に取り組むことができている。(60% →)	
家庭・地域が元氣	地域連携	コミスク	○地域に元気を届ける活動	川上地域に「元氣」を与える活動ができている。(88% ↓)	学校は、郷土(川上・周東・岩国)に誇りと愛着をもてるよう教育活動に取り組んでいる。(100% →)	ふるさとを愛する心を育む教育活動や指導場面の工夫ができている。(100% ↑)
			○地域のために何かしたいと考える	地域や地域の人のために、何かをしたいと考え、行動することができている。(63% →)	学校の教育活動は、地域や地域の方々に元気を与えることができている。(100% →)	学校の教育活動は、地域や地域の人に元気を与えるための工夫ができている。(100% →)
			○情報発信	学習したことを、お家の人や地域の人に、伝えたり、発表したりすることができている。(88% ↑)	学校は、様々な方法で情報発信することができている。(100% →)	学校での児童の様子や出来事の見える化を図るとともに、様々な方法で情報発信することができている。(100% →)
	ひと・もの・こと	○小小連携、小中連携、地域協育ネット	中学校や他の小学校の先生に教えてもらったり、他校の子どもたちと交流したりするのは楽しい。(100% →)	学校は、周東町の中学校や他の小学校と連携した活動に取り組んでいる。(100% →)	小中一貫教育を意識した小中連携や小小連携の取組を進めることができている。(100% →)	
		○学校・地域協働活動	学校で、お家の人や地域の人と一緒に授業やいろいろな活動をするのは楽しい。(100% ↑)	学校は、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育活動に取り組んでいる。(100% →)	保護者や地域の意見・要望も踏まえながら、家庭・地域と連携した教育活動に取り組むことができている。(100% →)	
○ひと・もの・こと	川上の「人・もの・こと」の素敵について、説明することができる。(50% ↓)	学校は、地域の「人・もの・こと」を活用しながら教育活動に取り組んでいる。(100% →)	学校は、地域の「人・もの・こと」を教育活動に組み入れた教育課程編成ができている。(100% →)			

かしこい子

評価規準	児童		保護者		教職員	
1 自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができる。	88%	→	79%	↓	80%	↑
2 友達の意見を聞いたり、タブレットで調べたりしながら、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができる。	75%	↓	79%	↓	80%	→
3 目標をもって学習に取り組み、自分の学びを振り返ることができる。	88%	↓	57%	↓	100%	↑
4 進んで宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができる。	100%	↑	50%	↑	100%	↑

- + 4の家庭学習の取組に対し、肯定的評価が児童・保護者・教職員の3者共に上昇し、意欲面での進歩が見られた。（※熟議を踏まえた家庭学習パワーアッププロジェクトの成果）
- 3の学習の目標や振り返りの項目では、授業の目標設定の工夫や振り返りの質を高める手立てを講じ、授業改善に取り組んでいるが、児童・教職員と保護者で差が見られる。

<今後の方向性>

→ 授業だけでなく、自主学習においても、自分の力を伸ばすための目標設定や内容の工夫、振り返りについて、指導することで、学び方を定着させる。

たくましい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができる。	75% ↓	79% ↑	80% →
2 早寝、早起き、朝ご飯（基本的生活習慣）ができる。	75% →	57% ↑	80% →

<分析>

+ 1の体力向上への取組や2の基本的生活習慣の定着については、保護者の肯定的評価は上昇した。（※マイスポーツプロジェクトの成果）児童の肯定的評価は下がっているが、朝ランニングや外遊びの様子からも、児童の運動への関心や意欲が高まっている。

<今後の方向性>

→ 客観的なデータを活用して学年や体力に応じた目標設定をさせ、体育やマイスポーツプロジェクトをとおして、体力向上や基本的生活習慣定着を図る。

やさしい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 進んで、大きな声と笑顔であいさつをすることができる。	88% →	100% ↑	100% →
2 みんなと仲良く遊ぶことができる。	100% →	100% ↑	80% ↓
3 時間やきまりを意識して行動することができる。	88% ↑	36% ↓	80% ↓
4 掃除やグリーンタイムのときなど、進んで働くことができる。	88% →	71% ↑	60% →
5 誰かにいじめられたり、誰かをいじめたりすることのない、いじめやいじりのない学校である。	100% ↑	100% ↑	100% →

<分析>

- + 1のあいさつ、2の仲良く遊ぶ、5のいじめのない学校については、前期と同様、3者共に肯定的評価が高い。特にいじめのない学校については、児童・保護者・教職員3者共に100%の肯定的評価。
- 3の時間やきまりの意識の保護者の肯定的評価が低い。個人差があるが、家庭ではスクリーンタイムを守ること、学校では給食終了時刻が守ることに課題がある。
- 4の進んで働く項目は、前期と同様、保護者・教職員の肯定的評価が低い。掃除や委員会活動で、指示されたことにはまじめに取り組むが、進んで仕事を見つけて働くことに課題がある。

<今後の方向性>

- 3学期から給食終了時刻が守れるように、児童の考えた振り返り方法（給食の花プロジェクト）を実践し、給食終了時刻を意識できるようになってきている。スクリーンタイムについては、家庭と連携しながら個別に助言する。
- 掃除や委員会活動の振り返りに「進んで仕事を見つけて働く」視点を取り入れ、価値づけや助言を適切に行うことで、みんな（学校・地域・家庭）のために進んで働く心を育てていく。

地域連携

評価規準	児童	保護者	教職員
1 学校は、川上地域に「元気」を与える活動ができています。	88% ↓	100% →	100% ↑
2 子ども・教職員、保護者他学校関係者は、地域のために、何かをしたいと考え、コミスク運営ができています。	63% →	100% →	100% →
3 学校は、コミスクとしての取組情報を発信することができています。	88% ↑	100% →	100% →
4 小小連携や小中一貫、地域協育ネットを生かした教育活動ができています。	100% →	100% →	100% →
5 家庭、地域と連携した教育活動ができています。	100% ↑	100% →	100% →
6 地域の「人・もの・こと」を活用して教育活動に取り組むことができています。	50% ↓	100% →	100% →

<分析>

- + 学校・地域連携教育活動のすべての項目で、保護者・教職員の肯定的評価は100%。特に、1の地域に元気を与える活動、3の学校の情報発信、4の他校との連携、5の家庭や地域との連携については3者共に肯定的評価が高い。
- 2の地域への貢献意識や6の川上のよさの説明力について、児童の肯定的評価が低い。

<今後の方向性>

- 自分たちの学習や生活が地域の人に支えられていることや地域の方の思いを子どもたちに伝えたり、「川上を元気にするために自分にできることは何か」考え（目標設定）→実践させたりすることで、ふるさとを愛する心や地域のために役立ちたいという思いを育む。
- 川上学や他教科で学んだ川上のよさを伝える場を計画的に設定し、川上のよさを語れる子を育てる。

学校評価（後期）総括

【かしこい子】

- ❁ 前期の最重要課題「家庭学習への主体的な取組」については、進歩が見られた。今後は、自主学習の内容の質を高め、確かで豊かな学びにしていくことが課題である。

【たくましい子】

- ◇ 自分の体力に応じた目標設定の工夫やマイスポーツプロジェクトを継続し、体力向上・生活習慣定着を図る。

【やさしい子】 ❁ あいさつ ❁ 仲良く遊ぶ ❁ いじめのない学校

- ❁ 給食終了時刻を守ることについては、成果の見られた「給食の花」プロジェクトを継続する。
- ◇ スクリーンタイムについては、家庭と連携しながら個別指導を継続する。（マイスポーツプロジェクトの活用）
- ◇ 掃除や委員会活動などにめあてをもって取り組ませ、振り返りや適切に価値づけを行うことで、主体的に働く子を育てる。

【地域連携】 ❁ 地域に元気を与える活動 ❁ 学校の情報発信 ❁ 他校や家庭・地域との連携

- ◇ 自分たちの学習や生活が地域の人に支えられていることや地域の方の思いを子どもたちに伝え、「川上のために自分にできることは何か」考え（目標設定）→実践させることで、ふるさとを愛する心や地域のために役立ちたいという思いを育む。
- ◇ 川上学や他教科で学んだ川上のよさを伝える場をカリキュラムに位置づけ、川上のよさを語れる子を育てる。